

令和8年6月30日



浜小だより

7月号

横浜市立浜小学校

校長 丹波 悟亮

《学校教育目標》相手の考えや気持ちを大切にし、互いに高め合う浜の子

チーム浜小学校

副校長 花本 敏夫

「子どもたちに必要な力は何か」と問われたとき、どのような力を想像されるでしょうか。きっといろいろな力が考えられると思います。その中で、私が今あげるとしたら、「たくましさ」と「しなやかさ」です。答えのない時代を生きる子どもたちにとって、自分の人生を舵取りする「たくましさ」と多様な人と関わり考えを広げ、協力していく「しなやかさ」の両輪があることによって自他の幸せをつかみとる一人ひとりになってほしいと考えています。

「そのために我々大人ができることは何か」ということをこれからも、共に考えていきたいです。横浜市の目指す教育の柱として、「社会全体で子どもを支える教育の推進」を掲げています。これは、私自身も大切なことだと考えています。これまでの経験を振り返っても、保護者や地域の皆様と協働することで、子どもたちを支え、子どもたちの力を引き出し育むことができました。

たとえ時代が変わり、教育の内容や学び方などが変わっていったとしても、社会全体で子どもを支える大切さは変わらないのだと思います。

現在、浜小学校でも多くの大人の支えがあります。「学校運営協議会」「読み聞かせボランティア」「図書ボランティア」「家庭科ボランティア」「おやじの会」「スクールサポーター（学校を中心に見守る警察の方）」「区役所」「見守り隊」「各自治会」等、たくさんの方々関わっています。また、地域でもスポーツ関係やキッズ、学童等、子どもの力を引き出し、見守る取組がたくさんあります。保護者の皆様もこのような活動に取り組まれ、ご自身のお子さんとともに、地域の子どもたちを育てる取組を行っている方もたくさんいらっしゃるでしょう。

これからも、それぞれの立場から「チーム浜小学校」で、子どもと関わり「自ら学び社会とつながりともに未来を創る人」を共に育ててまいりましょう。

7月も暑い日が続きますが、その夏の暑さを超える熱い想いをもって、日々の教育活動に取り組んでいきます。